

LIBRARIAN NEWSLETTER

September & October
2016

Springer Nature の出版物およびサービスより、
Nature 関連トピックをご紹介します。

CONTENTS

第18回図書館総合展
Springer Nature フォーラム



Nature Microbiology
著者インタビュー



Nature Reviews Disease Primers
著者インタビュー



Nature ダイジェスト
教材事例



2017年刊行誌に関するお知らせ



Nature Human Behaviour



Scientific Data
著者インタビュー

第18回 図書館総合展

Springer Nature フォーラム 開催のお知らせ

電子学術資料の利活用

研究者による利用事例と図書館への期待

- ・ 日 時 2016年11月10日 (木)
10:00～11:30 (受付開始 9:40)
- ・ 会 場 パシフィコ横浜 第4会場 (アネックスホール204)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
- ・ 講演者 早稲田大学理工学術院 准教授 山口潤一郎 先生
- ・ 主 催 シュプリンガー・ネイチャー

プログラム

1. シュプリンガー・ネイチャーよりアップデート (仮)
2. 電子学術資料の利活用 (仮)
早稲田大学理工学術院 山口潤一郎 先生

当フォーラムのお申込みフォーム

<http://bit.ly/SpringerNatureLF2016>

開催趣旨

学術資料の電子化が進んだ現在、利用者が図書館に足を運ぶことは少なくなっていると言われています。また、大学図書館の役割もコレクション構築にとどまらず、より利用者、研究者の近くに寄り添ったものに変化すべきと言われています。

本年のフォーラムでは、国内私立大学の中でも最大規模を誇り、電子ジャーナルのみならずSpringer eBooksのほぼすべてが利用できる図書館を有する早稲田大学の山口潤一郎先生より、研究者、教育者のお立場から現場での学術情報の利活用についてご紹介頂きます。

実際に図書館コレクションを研究者がどう利活用しているかを知ることにより、利用支援、研究支援のサービスの可能性が見えてくるのではないのでしょうか？

山口先生はご自身でChem-Station (www.chem-station.com) という化学者のためのポータルサイトを主宰され、研究・教育に役立つ最先端の情報を収集・キュレーションし、インターネットを使って広報、啓蒙するという活動を長年されています。研究者として、そしてケムステ主宰者としてのご経験から、大学図書館のリソースをどう活用しているか、またさらに効率よく利用するには、どのようなサービスを期待するか、など具体的なお話をお話いただきます。

研究者支援の向上を目指す図書館、および学部図書館に従事される皆さまには、ぜひご参加いただきたいフォーラムです。

nature microbiology

東京大学医科学研究所教授 河岡義裕氏 ロングインタビュー

インフルエンザウイルスを人工的に合成するなど、世界的に業績を知られる東京大学医科学研究所河岡義裕教授。このほど、インフルエンザウイルスの抗原変異を高い精度で予測する技術の開発と、宿主の核内におけるウイルスの動態に寄与するタンパク質の同定に関する2つの研究成果を、*Nature Microbiology* に発表されました。ともにワクチン、治療薬の開発に道を開くもので、特に抗原変異の予測はより有効なワクチン製造を可能にする画期的な成果であり、すでに実用化に向け応用が始まりつつあります。今回、これら2つの成果を踏まえ、パンデミックへの危機感と研究の重要性、デュアルユース（科学研究の両義性）、社会とのかかわり、今後の研究の方向性について河岡教授にお聞きしました。このインタビューは前編、後編に分けて特別無料公開中です。ご所属機関のエンドユーザーのみなさまにぜひご紹介ください。



河岡義裕氏

東京大学医科学研究所感染・免疫部門
ウイルス感染分野 教授
米国ウィスコンシン大学マディソン校
獣医学部 教授

前編：ウイルスの変異を高精度で予測——より有効なワクチン開発に道

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/5

後編：科学者は常に研究のプラス面とリスクを考え対処し、一般の人に信頼される努力が不可欠

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/6

Nature Microbiology 掲載論文



Volume 1 Issue 6 June 2016

季節性インフルエンザウイルスの抗原変異株の予測選定

Selection of antigenically advanced variants of seasonal influenza viruses

Nature Microbiology 1: 16058 | doi:10.1038/nmicrobiol.2016.58

www.nature.com/articles/nmicrobiol201658

宿主タンパク質 CLUH はインフルエンザウイルスのリボ核タンパク質複合体の核内輸送にかかわっている

The host protein CLUH participates in the subnuclear transport of influenza virus ribonucleoprotein complexes

Nature Microbiology 1: 16062 | doi:10.1038/nmicrobiol.2016.62

www.nature.com/articles/nmicrobiol201662



Volume 1 Issue 8 August 2016

Nature Microbiology の閲覧には本誌の購読が必要です。

機関購読の見積、および法人向けサイトライセンス無料トライアルのお申し込みは、最寄りの購読代理店、もしくは弊社（ウェブフォーム：nature.asia/jp-contact）までご連絡下さい。

nature REVIEWS DISEASE PRIMERS

2016 著者インタビュー

Nature Reviews Disease Primers に論文が掲載された著者の皆様に、執筆された Primer について今回の Primer のインパクト、診断、治療、予防にどのように役立つか、そして各疾患における残された謎などお伺いしました。Nature Reviews Disease Primers では、研究者、研究医また臨床医の皆様に活用いただける Primer を毎週ご紹介しています。

Nature Reviews Disease Primers では、「Primer」と名付けたレビュー論文を掲載し、各疾患について網羅的に解説します。最新の臨床研究をはじめ臨床応用への課題も見据えた、信頼度の極めて高い世界的な見解を打ち出すことで、生物医学分野の研究者に有益な情報を提供します。実際の掲載論文は、疫学から発症機序、診断および治療までの項目により構成されており、その疾患のあらゆる側面について解説します。

本誌掲載レビュー論文

メニエール病 (Meniere's disease)

Nature Reviews Disease Primers 2: 16028

doi:10.1038/nrdp.2016.28

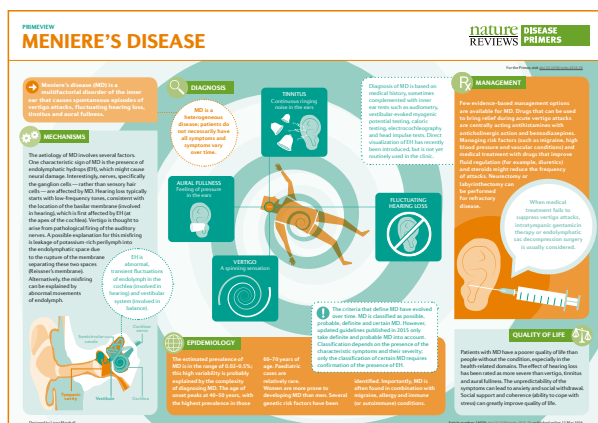
www.nature.com/articles/nrdp201628

中島 務氏

名古屋大学 名誉教授 / 一宮医療療育センター長

著者インタビュー

www.natureasia.com/ja-jp/nrdp/interview/contents/3



長縄 慎二氏

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学分野 教授

名古屋大学 脳とこころの研究センター センター長

著者インタビュー

www.natureasia.com/ja-jp/nrdp/interview/contents/4

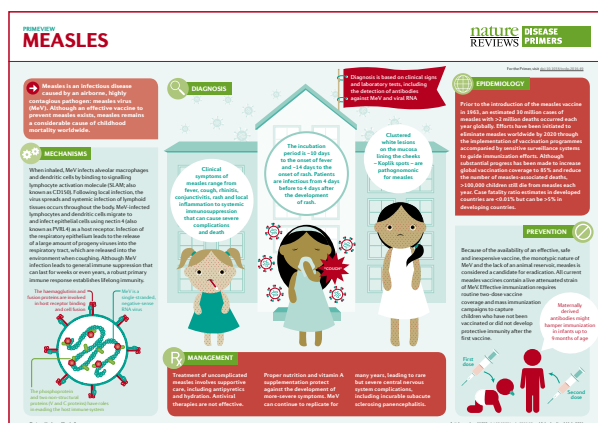
本誌掲載レビュー論文

麻疹 (Measles)

Nature Reviews Disease Primers 2: 16049

doi:10.1038/nrdp.2016.49

www.nature.com/articles/nrdp201649



竹田 誠氏

国立感染症研究所 ウイルス第三部 部長

著者インタビュー

www.natureasia.com/ja-jp/nrdp/interview/contents/5

Nature Reviews Disease Primers の閲覧には本誌の購読が必要です。機関購読の見積、および法人向けサイトライセンス無料トライアルのお申し込みは、最寄りの購読代理店、もしくは弊社（ウェブフォーム: nature.asia/jp-contact）までご連絡下さい。

Nature Video、Nature ダイジェスト 教材活用事例

Nature Video を授業の教材としてご活用されている、 法政大学 経済学部 物理学・科学ジャーナリズム教室（教授 藤田貢崇氏）の 事例をご紹介します

www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/video/

法政大学 藤田貢崇研究室では科学ジャーナリズム・物理学をはじめとして、広くジャーナリズムや科学を演習テーマとして扱っています。研究室では、Nature Video を一教材として活用し、ビデオで紹介されている研究を、学生とディスカッションしながら科学ジャーナリズムの観点から高校生や大学の学部学生にもわかりやすく解説することを目的としています。

Nature Video チャンネルで紹介しているビデオは、Nature ダイジェストの記事としても掲載されています。まずはビデオで研究の背景情報を知り、その上で Nature ダイジェストの記事を通して最新の動向をつかむことで、紹介されている研究に対する理解を更に深めていただくことができます。

教材として取り上げられた Nature Video

ついに捉えられた重力波

youtu.be/hhbMpe17fzA

人類はついに重力波を観測した。アインシュタインの理論を裏付けるこの観測結果は、ニュースでも大きく取り上げられた。重力波は日常生活では実感できないが、非常に大きな質量によって時空が伸びたり縮んだりした「ゆがみ」が波となって伝わったものだ。重力波はどのようにして捉えられたのだろうか。



学生との議論：『天体までの距離を計測するには？』

教室での議論と学生からのコメントはウェブ上で公開中

www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/video/contents/3



こちらの記事が授業で紹介されました。

「重力波を初めて直接検出」(Nature ダイジェスト 2016年4月号より)

重力波は、時空の歪みが波として伝わる現象だ。この重力波を直接検出することに、米国を中心とする国際的な観測計画が初めて成功した。2つのブラックホールの合体で生じたとみられる重力波を捉えた。アインシュタインの予言が100年を経て確かめられ、天文学は重力波を通して宇宙を見る新たな時代に入った。
(doi : 10.1038/ndigest.2016.160402)

原文 : LIGO's path to victory

Nature (2016-02-18) | doi: 10.1038/530261a

Nature 原文、Nature ダイジェスト記事共に、全文の閲覧には購読が必要です。

Nature ダイジェストは、科学誌 *Nature* の大切な部分をまとめた二次情報誌です。さまざまな分野を包括的に取り上げ、日本語で再編集しているので、異分野英語に悩まされることなく科学の動向を追うことができます。研究者・科学者だけではなく、企業運営者、学生、教育者など、科学に従事する幅広い層にご愛読いただけます。

ご購入はお近くの購読代理店、洋書取扱い書店、
もしくはお問い合わせウェブフォーム
(nature.asia/jp-contact) にお申込み下さい



10 月号掲載内容

人類起源にアジアからの挑戦状

忘れられた大陸

「温故知新」で医薬品開発

ネオニコチノイド系農薬とハチ減少に新たな証拠 他



研究のヒントに



視野と知識の拡大に



教材としても
ご利用ください！



9 月号「人工多能性幹細胞の 10 年」

地球の内核と磁場形成に新たな議論！

鏡像型 DNA を複製できる酵素、登場！

体内の樹状細胞を活性化できるがんワクチン 他



6 月号「未来をひらく虹、ナノ蛍光体」

巨大ウイルスにも CRISPR 様の「免疫系」が！

p 値の誤用の蔓延に米国統計学会が警告

水から高効率で酸素と電子を生む鉄触媒 他



8 月号「ヒト胚研究、ついに未知領域へ」

自然界の 5 番目の力を発見？

セシウム使用中止の圧力に苦悩する生物学者たち

免疫から逃れるがん特有のゲノム異常発見 他



5 月号「カンブリア爆発の謎に新展開」

アルツハイマー病マウスで記憶が回復

論文の追試結果を発表する学術誌が始動

指示されると責任を感じない 他



7 月号「がんの進化を治療に利用する」

たるんだ肌を若返らせる薄膜

助成金申請却下に不服申立てができる？

実験用マウスの免疫系は未発達のまま 他



4 月号「その実験結果、信用できますか」

オフターゲット効果が最小の Cas9 酵素

老化細胞を除去したマウスは長生き

地球は「大凍結」を辛うじてのがれている 他

2017 年刊行のご案内

2017 年 1 月からのジャーナルご提供の変更についてご案内いたします

Nature Research 出版誌 2017 年創刊誌

Nature Astronomy

www.natureasia.com/ja-jp/natastron

天文学、宇宙物理学、惑星科学の最先端の重要な研究論文、レビュー論文、解説を掲載することにより主要な天文学関係領域を代表し、各領域間の緊密な相互作用を促す、真に学際的なジャーナル。

Nature Human Behaviour

www.natureasia.com/ja-jp/nathumbehav

社会科学と自然科学の幅広い領域から、人間行動の心理的・生物学的・社会的基盤だけでなく、その起源、発達、障害も含めたあらゆる側面に関する、重要な研究論文を掲載。

Nature Biomedical Engineering

www.natureasia.com/ja-jp/natbiomedeng

疾患の解明や撲滅のための材料、方法、技術、治療法の考案に関心をもつ実験系研究者、医用装置と手順の設計や最適化を行うエンジニア、医用生体工学の研究成果を活用してさまざまな臨床環境および医療的状況で患者の健康評価や治療を行う臨床医のためのジャーナル。

Nature Ecology & Evolution

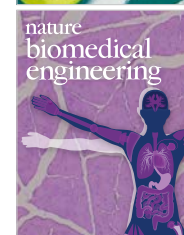
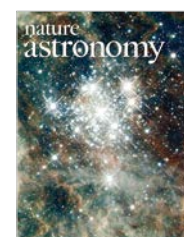
www.natureasia.com/ja-jp/natecolevol

生態学および進化生物学の全領域に目を向け、分子、生物個体、集団、群集および生態系のレベルでの研究に加えて、社会科学の関連領域も対象。

Nature Reviews Chemistry

www.natureasia.com/ja-jp/natrevchem

純正化学と応用化学のさまざまな領域をカバーする Review、Perspective、Research Highlight、Commentary を掲載するオンライン限定 Review ジャーナル。



nature.com Academic Journals の移管誌

Molecular Therapy Volume 24 の完了を持ちまして、2017 年 1 月 1 日より Cell Press に移管します。

2017 年購読 **Molecular Therapy** に関するお問い合わせ先

オンラインジャーナル購読問い合わせ先：エルゼビア・ジャパン株式会社

大学・政府機関のお客様

essjapanag@elsevier.com

企業のお客様

essjapanacorp@elsevier.com

冊子購読問い合わせ先

ユサコお客様窓口

j-kanri@usaco.co.jp

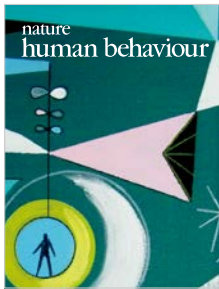
Palgrave Macmillan ジャーナルの移管、刊行終了

・ **Polity** (ISSN 0032-3497、eISSN 1744-1684) 2017 年 1 月に University of Chicago Press に移管いたします。

・ **Journal of Direct, Data and Digital Marketing Practice** (eISSN 1746-0174)

Volume 17 (2016) の刊行完結後に出版を終了いたします。今後の続刊はございませんのでご了承ください。

nature human behaviour

nature.com/nathumbehav


行動科学コミュニティのための *Nature* リサーチ誌として、オンライン限定ジャーナル *Nature Human Behaviour* を 2017 年 1 月に創刊します。

本誌は *Nature Research* 出版誌で初の、社会科学分野をも大きく取り上げるジャーナルで、自然科学も含めた幅広い領域から、人間行動の心理的・生物的・社会的基盤だけでなく、その起源、発達、障害も含めたあらゆる側面に関する、重要な研究論文を掲載します。扱うテーマは行動科学の全域にわたり、知覚、行動、記憶、学習、報酬、判断、意思決定、言語、コミュニケーション、情動、人格、社会的認知、社会的行動、政治的行動、信念体系、社会規範、社会構造、集合認知、集合行動、文化などが含まれます。

Nature Human Behaviour では、原著研究論文に加えて、人間行動に関する研究分野全体をカバーする Review、Perspective、Comment、News、Feature、Correspondence も掲載します。

本誌の究極の使命は、私たちの社会が直面する問題の解決に向けた努力に人間行動研究が及ぼす影響の範囲を広げ、その力を強化することです。

対象領域

- | | | | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|-------------|-------|
| • 人類学 | • 政治科学 | • 精神医学 | • 心理学 | • 公共政策 | • 社会学 |
| • カルチュラル・スタディーズ | • 人工知能 | • 経営学 | • 認知科学 | • コミュニケーション | • 犯罪学 |
| • 遺伝学 | • 生態学 | • 経済学 | • 教育学 | • 動物行動学 | • 進化 |
| | • 地理学 | • 言語学 | • 経営管理 | • 神経科学 | • 哲学 |

掲載コンテンツの種類

- Letter** 重要で新奇な研究成果を報告する一次論文です。
- Article** 人間行動学の研究者が広く興味を持つ、複数の技術や方法を用いた、質が高く充実した新奇な研究成果を報告する一次論文です。
- Review** 1つの研究領域の最近の動向を偏りなくまとめた、信頼できる論文です。著者は関係する文献を要約するだけでなく、そのテーマに関する独自の識見を示します。
- Perspective** 著者が個人的な観点からモデルや構想を検討するためのフォーラムとなることを目指しています。Review 論文に比べて進歩的であったり、思索的であったり、議論の範囲が狭くなったりすることがあります。Perspective は議論を活発にし、新しい実験的アプローチの登場を促します。
- News & Views** *Nature Human Behaviour* または他誌に掲載された論文や学会で報告された人間行動研究の最新の成果を読者に伝えます。通常、著者は本誌のエディターからの依頼を受けて執筆します。
- Correspondence** 本誌の読者が過去号に掲載された論文に対してコメントを寄せたり、人間行動に関係のある論点について議論したりするためのコミュニケーションフォーラムです。Correspondence 記事の表題はエディターが作成します。

2017 年創刊の *Nature Research* 出版誌は、すべてオンライン版のみでのご提供となります。法人向けサイトライセンス購読見積は、最寄りの購読代理店、もしくは弊社ウェブフォーム (nature.asia/jp-contact) までお問い合わせ下さい。

SCIENTIFIC DATA

日本人著者インタビュー（無料公開）

www.natureasia.com/ja-jp/scientificdata/papers-from-japan/sdata201663

Scientific Data は、科学的に貴重なデータセットの記述を掲載する新しいオンライン限定のオープンアクセス誌で、データの共有と再利用を促し、究極的には科学的発見のペースを加速することを目指しています。本誌では、キュレーションによって構造化された研究データの記述を従来の文章による記述と組み合わせた Data Descriptor という新しいタイプのコンテンツを導入しています。

この度、*Scientific Data* の Data Descriptor 著者のお一人である、慶應義塾大学先端生命科学研究所 荒川和晴特任准教授に、研究概要、研究目的と主要な研究成果、*Scientific Data* での出版をお願いいただいた理由など、この度の掲載に関する興味深いお話をお伺いしました。このインタビュー記事は無料公開中です。また、荒川氏の掲載文を含む、*Scientific Data* にオープンアクセスで掲載中の Data Descriptor も閲覧いただけます。ぜひこの機会に、*Scientific Data* の有用性を、研究者のみなさまと共にご体験ください。



荒川和晴氏

慶應義塾大学先端生命科学研究所
特任准教授

Scientific Data 掲載の Data Descriptor

緩歩動物クマムシの単一個体のゲノムシーケンシング OPEN

Genome sequencing of a single tardigrade *Hypsibius dujardini* individual

Scientific Data 3: 160063 | doi: 10.1038/sdata.2016.63

www.nature.com/articles/sdata201663

共著者：吉田祐貴氏 / 富田勝氏（慶應義塾大学先端生命科学研究所）

ライブラリアン・ニュース ご登録のお願い

当ライブラリアン・ニュースレターは 2016 年 2 月号より、Springer Nature の出版物、およびサービスより、*Nature* 関連情報を中心に、図書館向け情報を抜粋してお届けしています。弊社ライブラリアン・ニュースにご登録のみなさまには、ライブラリアン・ニュースレター最新号配信のお知らせの他に、イベント開催のお知らせ、無料トライアルやディスカウントキャンペーンのお知らせ、弊社からの重要なお知らせ（プレスリリース等）を、随時メールにてお届けいたします。

ライブラリアン・ニュースご登録をご要望の方は、お名前、ご所属機関名、部署名をお書き添えの上、以下へメールにてお申込み下さい。

ご登録のお申込み先

Email: sl_sales@nature.com （担当：マーケティング 小林 真紀）

Librarian Newsletter Nature 関連アップデート 9 月、10 月合併号（2016 年 10 月 31 日発行）

シュプリング・ネイチャー

インスティテューショナル・マーケティング（編集担当：小林 真紀）

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-37 千代田ビル

TEL: 03-4570-6710 / FAX: 03-3267-8746

Email: sl_sales@nature.com

SPRINGER NATURE